

2021年度(第18回)北海道ミッド女子マスターズゴルフ選手権競技

開催日 2021年10月1日(金)

開催場所 羊ヶ丘カントリークラブ

競技の条件

1. ゴルフ規則

2019年度(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。

2. 使用クラブの規格

『ゴルフ規則 4.1a 適合クラブ』を適用する。(ゴルフ規則 25p 参照)

3. 使用球の規格

『ゴルフ規則 4.2a 適合球』を適用する。(ゴルフ規則 28p 参照)

4. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則 5.5 ホールとホールの間での練習禁止』(ゴルフ規則 34p 参照)は次のように修正する。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。(違反の罰:2打)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭または、白線をもってその境界を標示する。修理地はプレー禁止区域とする。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線、レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線をもってその境界を標示する。線と杭が表示されている場合は線がその限界を表示する。
4. 排水溝は動かさない障害物とする。
5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
6. 芝保護のためにコース内に敷いてある人工(プラスチック製またはゴム製)の歩経路は人工の表面を持つ道路とみなす
7. 電磁誘導カート道路はプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害から罰なしの救済を受けなければならない。
8. No.3 のバンカー内の枕木はコースと不可分とする。
9. No.10 のグリーン右手前の修理地に入った場合、規則 16.1a に基づいて救済を受けるか、あるいはドロップエリアからドロップして救済を受けることが出来る。
10. 球がNo.17 のレッドペナルティーエリアに入った場合、プレーヤーは次の処置のいずれかをとることが出来る。
 - i) 規則 17.1d に基づく救済処置
 - ii) 1打の罰のもとに球をドロップ区域にドロップしてプレーすること。

注 意 事 項

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、競技用カード交付場所付近に掲示して告示する。
2. パー3のホールに限り、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーイングエリアまで来ている場合、パッティンググリーン上にある球の位置をマークして全て拾い上げ、後続組プレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングエリアからプレーさせること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないよう注意すること。

<新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についてのお願い>

- 1) コロナ対策として、ピンは抜かずに立てたままのプレーを推奨いたします。
- 2) プレー中や食事中を除き、特に人との会話を伴う場面に於いては極力マスクの着用をお願いいたします。またあらゆる場面において、ソーシャルデスタンスの確保をお願いいたします。
- 3) アテスト終了後は食事の提供は無く。競技会場での表彰式も行いません。
- 4) 成績は北海道女子ゴルフ協会ホームページにて発表いたします。

競技委員長 末廣 和子